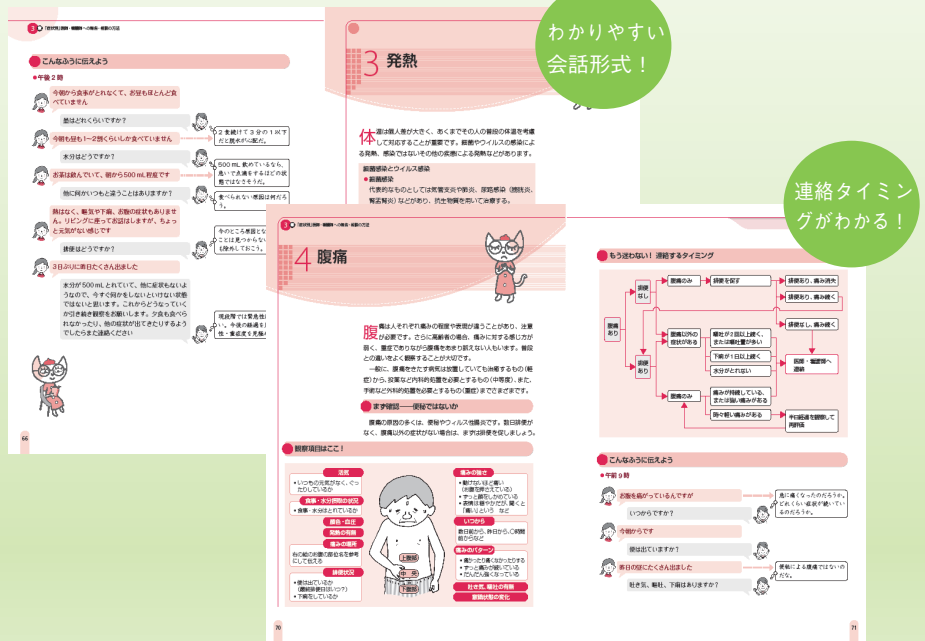


症状別・伝えるタイミングがわかる 介護職のための医療とのつきあいかた

新刊!

あおぞら診療所 (川越正平・山川真理子) 編著

施設や通所介護、訪問介護の現場で、医療と介護がともに手を携えて
豊かなケアを提供するための必携の書!



定価 (本体 1,900 円+税)
B5 判 / 104 頁
ISBN 978-4-8404-6118-4

介護職にとって「難しく、とっつきにくい」イメージの医療。しかし医療と介護の連携の重要性が強調される今、「医療と力を合わせて利用者に関わる介護職」が求められます。本書は生活を支える介護職と、病を見る医療職がともに手を携えて、最後まで地域で支えるケアを実現するための必携の書です。介護職だけでなく介護と連携をはかる医療職も必読です。

目次

- | | | |
|--|--|--|
| <p>1 章 老い衰えの経過と生活を支える
介護職の役割</p> <p>1-1. 老い衰えの代表的な経過</p> <p>1-2. 「軌道」の低下をもたらす「くぼみ」と「傾き」</p> <p>1-3. 生活を支える6つの視点と自立支援に基づく介護</p> <p>1-4. 医療と介護が同じ方向を目指して対応</p> <p>1-5. 体調変化に際しての医療との連携</p> <p>1-6. 施設における介護職の役割</p> <p>1-7. 認知症のステージ</p> | <p>2 章 「生活」を支えるケアに必要な「医療の視点」とは</p> <p>2-1. 食事</p> <p>2-2. 排泄</p> <p>2-3. 睡眠</p> <p>2-4. 清潔・整容—皮膚・口腔ケア・フットケア</p> <p>2-5. 動きと姿勢</p> <p>3 章 「症状別」医師・看護師への報告・相談の方法</p> <p>3-1. 体調が変化したときの医療の対応</p> <p>3-2. 急に食べられなくなった</p> | <p>3-3. 発熱</p> <p>3-4. 腹痛</p> <p>3-5. 吐き気・嘔吐</p> <p>3-6. 下痢</p> <p>3-7. 身のこなしがおかしい</p> <p>3-8. 転倒</p> <p>4 章 チームで支える看取りのプロセスとケア</p> <p>4-1. 看取りのプロセス</p> <p>4-2. 看取りが近づいたときに介護職ができるケア</p> <p>4-3. 看取り時のケア</p> <p>4-4. グリーフケア</p> |
|--|--|--|

小社ホームページ、amazon などでご購入いただけます。「介護職のための医療とのかかわりかた」で検索!

本社 〒532-8588 大阪市淀川区宮原 3-4-30 ニッセイ新大阪ビル 16F
お客様センター 0120-276-591 (平日 9:00 ~ 17:00) www.medica.co.jp/

MC メディカ出版